



直島町は、瀬戸内海に浮かぶ直島を中心に27の島々で構成され、その南部は緑豊かな瀬戸内海国立公園に指定されています。漁業や製造業、観光業が盛んなこの町は、離島でありながら活発な町として国内外から注目を集めています。直島町消防団は4つの分団で構成され、町民の生命と財産を守るために消防精神を大切にしながら訓練や地域の防災力向上に努めています。



直島町TOPICS

- ★県下唯一の非常消防自治体のため、消防団が地域防災の要です。
- ★平成28年4月から消防団員の確保策の1つとして、機能別消防団員を募集しています。

団員 interview



【マスコット名】
直島町観光キャラクターすなおくん

【第5分団】西岡 裕喜広さん

■消防団としてどのような活動をしていますか？

災害時の活動経験は、山崩れで生き埋めになった方の捜索や水難事故発生時の小型船での捜索活動などさまざまです。特に印象に残っているのは、出火から6日目に鎮火した山林火災です。当時、真冬の寒さの中、不眠不休で消火活動を続けていました。体力も気力も限界に近づいたとき、防災ヘリや自衛隊ヘリからの空中消火、近隣の消防隊や他の消防団の応援を受け、無事に鎮火することができました。

■消防団活動の魅力は何ですか？

消防団の魅力は、多様な職業や年齢の人々が集まるなかで、地域住民の生命を守るという共通の思いがあることです。毎月の訓練や活動時に、地域の方から「頑張って」「ありがとう」と声をかけてもらうことが、消防団員ならではの励みになります。その瞬間、感謝の気持ちとともに、自分が消防団員であることの誇りを感じられます。

■消防団への入団を考えている人にアドバイスをください！

消防団の活動は、正直入ってみないと分からない部分も多いと思います。団体としての個性も異なるでしょうが、どの消防団も、地域住民に寄り添い、災害時は地域のために全力で活動しています。今、全国的に消防団員数が減少しています。少しでも入団を迷われている方は、まずは見学にいらしてください。

消防団の活動状況



消防出初式

毎年1月初旬に中学校グラウンドにて消防出初式があります。消防団員など約100名が参加し、式典や訓練を実施します。



夏季訓練

ダム周辺にて、林野火災や水利が確保しづらい場所を想定し、分団間での連携送水などを実施します。



幼少中合同避難訓練・防災学習

消防ホースを使った放水体験や水消火器を使った消火体験、消防車の見学会を行います。